

公園運営に関する「緑の質」の向上に対する課題

<資源面の課題>

・少子高齢化をはじめとする社会・経済情勢の変化により、住民の多様なニーズに対応するすべての維持管理が難しくなっていることから、限られた予算を効率的に配分・活用していく必要がある
→今後も適切な公園運営・維持管理を継続していくためには、地域住民に加えて、企業やNPO等の多様な主体の参画、意欲・要望・能力（規模）に応じた活動内容の多様化を可能とする仕組みづくりが必要となっている。

<機能・利用面の課題>

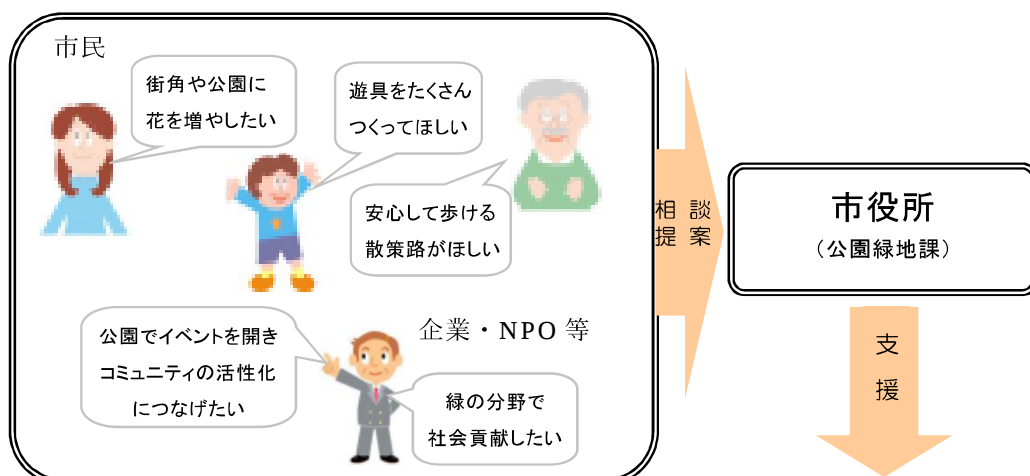
・公園緑地に求められる機能や地域の実情や市民ニーズが多様化している。
→個々の公園の位置づけや地域の実情に併せた運営・維持管理を行い、公園の緑の質を向上させていくことが必要となっている。



新たな仕組み「(仮称)公園愛護運営会」のイメージ

	現在	将来
活動する人	・公園愛護会の枠組み： 地域の一部有志	公園愛護会を発展させた新たな枠組み： ・多様な地域住民（学校、子ども会、自治会など） ・公園でやりたいことのある住民 （ガーデニング、スポーツ、イベント等） ・地域への貢献を目指す企業、NPO など
活動する内容	・安全で安心な公園の維持管理	・安全で安心な公園の維持管理 ・花壇のデザイン・設置・手入れ ・地域の特色を出した植栽のデザイン ・コミュニティ農園づくり ・実のなる木の植樹・手入れ・収穫 ・地域住民参加イベントの提案・実施 （BBQ や手持ち花火大会、地域のお祭り、防災訓練など） ・地域に即した利用ルールの設定・調整・運営 ・あそび場（遊具、水遊び場など）の提案・設置 ・防犯パトロール ・プレイパーク ・自然観察会 ・健康増進活動
行政による支援	・報奨金制度 ・資材（ごみ袋等）の提供 ・ごみの回収	・活動内容に応じた報奨金（活動資金）の再設定 ・運営に関する助言、調整支援、専門家の派遣など人的支援

公園運営の新たな仕組みのイメージ(一例)



箇所ごとの(仮称)公園愛護運営会の開催

(仮称)〇〇公園愛護運営会

【参加者】

- ・多様な地域住民（子ども会、町内会、学校など）
- ・公園でやりたいことのある住民
- ・地域への貢献を目指す事業者、NPO など

【主な役割】

- ・地域の実情や要望に合わせた緑の維持・活用に関するルールや活動内容などの話し合い

例：花壇デザインや植樹など活動、遊具の提案、イベントやコミュニティ活動の実施提案
広場の占有利用、ボール遊び、ペットの立ち入りなどのルールの協議
地域住民による安全で安心な公園維持管理の方法の協議など

- ・緑の維持・活用に関する具体的な活動の実施

例：話し合いで決まった公園を利用した地域の活動の実施 など



■市民協働による公園運営計画の改善・見直し
改善・見直し「Action」

■市民協働による公園運営計画の策定
計画「Plan」



■公園運営計画に基づいた活動の展開
実施「Do」



■活動の評価
点検・評価「Check」

公園や地域などの緑の質や魅力の向上

図 6-2-5 公園運営の新たな仕組みのイメージの一例